

# 社会的養護のあり方に関する専門委員会

## 主な検討課題

1. 社会的養護のあり方について
  - 社会的養護の目的
  - 施設養護と家庭的養護の果たすべき機能と協働等
  - 多様なニーズに応えるサービスのあり方
  - その他
2. 家庭的養護（里親・グループケア等）のあり方について
  - 里親制度の普及・啓発
  - 専門性の確保
  - 里親機能の拡充
  - 里親支援の強化 等
3. 施設養護のあり方（施設サービス体系のあり方等）について
  - ケア形態の小規模化(子どものニーズに対応する家庭的・個別的ケア等の強化)とその支援のあり方
  - 施設サービス体系のサポートのあり方
  - 生活機能、治療機能及び教育機能などのケア機能強化
  - 子どもに対する連続的なケアの提供
  - ケア担当職員の質的・量的な確保
  - 地域支援機能などの在宅支援機能強化
  - 一時保護機能のあり方 等
4. 家族関係調整及び地域支援について
  - 家族への支援や親権者との関係調整
  - 関係機関との連携、地域におけるサポートシステムの確立 等
5. 年長の子どもや青年に対する自立支援について
  - 年長の子どもや青年に対する支援（自立生活・住居・就労・進学等）のあり方
  - 自立援助ホームの機能や役割の強化 等
6. 社会的養護の質の向上
  - 子どもの権利擁護の強化
  - 施設入退所等に関するアセスメントの策定
  - 支援プログラムのあり方（個々の状況に応じた支援計画の策定等）
  - サービス評価の実施
  - 社会的養護関係者に対する養成、研修の拡充 等
7. その他
  - 学校教育との連携